

Asian Side of the Doc (ASD) 2012 -Tokyo- 概要

「Asian Side of the Doc」は、アジアやヨーロッパをはじめとする世界中の国々、またはアジア諸国同士における、国境を越えたドキュメンタリーの共同製作マーケットであり、共同製作のビジネスマッチングを促進する国際的なイベント。

本イベントでは、各国のドキュメンタリー・プロデューサーやコミッショニングエディターと呼ばれる出資者（放送局等）に対し、製作者自らがドキュメンタリー企画をプレゼンテーションする「ピッチング・セッション」が開催され、製作者に放送枠や制作資金を得る機会が提供される。

500名以上の参加者が見込まれる今回のイベントでは、「ピッチング・セッション」「パネル・ディスカッション」「サイド・バイ・サイド」等を通して、“世界マーケットとしてのドキュメンタリー”を共同製作する上での必要な情報を交換するとともに、国内外の人的ネットワークの形成を促進。

本イベントでは、第三次補正予算「海外への情報発信強化」事業と連携して、3月18日に「震災特別ピッチング・セッション」を設け、震災復興をテーマとした映像コンテンツの国際共同製作のマッチングを実施。

ASD2012 スケジュール(予定)

場所：電通ホール(3月17日(土)～18日(日))

ベルサール汐留(3月19日(月)～21日(水))

3月17日(土) マスター・クラス(ピッチ・セッションにおける効果的なプレゼン方法について、国内製作者向け講習会を開催)

3月18日(日) 震災特別ピッチング・セッション

3月19日(月)～21日(水)

ピッチング・セッション(企画プレゼンテーション)

パネル・ディスカッション&ワークショップ

サイド・バイ・サイド・ミーティング(個別面談)

3月22日(木) オプションツアー(仙台)

Asian Side of the Doc(ASD)は、毎年フランスのラ・ロシェルで開催されている世界で最も評価の高い国際ドキュメンタリー・フォーラムのひとつ、「Sunny Side of the Doc」のアジア版。

地域のドキュメンタリー市場の開拓手段として、アジア地域、またアジアとそれ以外の地域の国境を超えたドキュメンタリーの共同製作を推進する為、意見交換の場を設ける目的で2010年から開催。

第1回ASD(2010年)は香港で開催。総勢300人以上が参加。

第2回ASD(2011年)はソウルで開催。厳選された100作品を超えるドキュメンタリー企画に関して意見交換。参加者数は第1回と比較し60%増。400組の個別面談が行われた。